

Vol.
12
2022
February

十 OHACO おはこ 番

中小企業による、中小企業のためのビジネスメディア



ひらく、まぜる、生まれる
次の100年を育てるインキュベーション施設



OHACO WEB

チラシ同封 サービス

約5,500社に
アプローチ!

サービス案内

営業提携

物販

など

中小企業の発信を応援！
自社の商品やサービスを企業へ発信したい方、是非ご活用ください。

同封プラン	55,000 円 / 1回
A4 チラシ制作 印刷パック	33,000 円 (同封サービス利用の企業様限定)
WEBページ掲載 SNS発信オプション	11,000 円

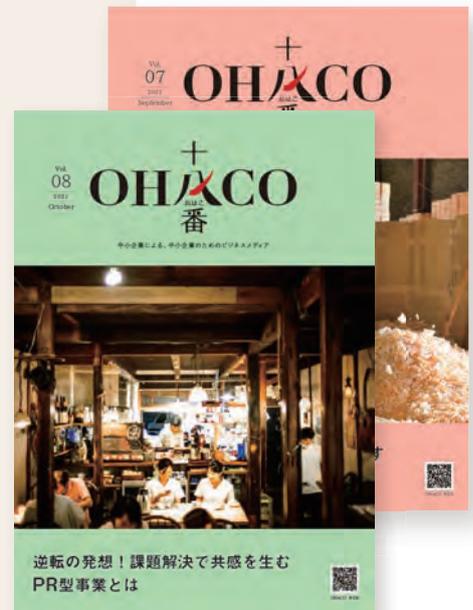
※価格は全て税込です。

商品紹介、サービス紹介、ECサイト紹介、セミナー案内、従業員様向けの案内
チラシ以外の同封も可能ですので、ご相談ください。

お申し込みはコチラから！



<https://forms.gle/FusniTMX6GmBuacZ7>



WEB掲載 企業募集

OHACOに取り上げて欲しい！自社商品やサービスを紹介したい！
そんな情報をご提供ください。



お問い合わせはコチラから



中小企業に直送！

経営者が読むべきビジネス情報誌

FREE

CONTENTS

04	特集	なごのキャンパス ひらく、ませる、生まれる 次の100年を育てるインキュベーション施設
08		強運会計士の「目から鱗」経営 資金の使い方
09		ITに強い敏腕若手税理士のすぐ使える旬な税ニュース 消費税のインボイス制度 適格請求書発行事業者との取引がある場合の変更点は？～経理編～
10		最期の1%まで幸せに生きる 経営者だからこそ最期を考え、幸せな1%を迎えたい。
11		中小企業の経営にまつわる悩みを法的に解決！ 藤田弁護士の法律相談所 大雪・大雨で休業する場合、休業手当はどうすればいいですか？
12		こころと身体健康増進室 RAS 効果
13	新連載	IT Trends UpDate OCR / BI (Business Intelligence) ツール
14	新連載	営業に効く「コツ」教えます！ お客様の来店を増やす！ 公式 SNS 配信の「コツ」
15		OHACO info

OHACO
公式 SNS





ひらく、まぜる、生まれる 次の100年を育てる インキュベーション施設

取材・文 笹田理恵



旧・那古野小学校校舎をリノベーションして生まれたインキュベーション。起業家やベンチャーの育成拠点として2019年10月に開設。ワーキングスペースやシェアオフィスなどのワークスペースと、会議室・体育館などのレンタルスペースも併設され、次の100年を担うひと・こと・ものが育っていくことをコンセプトに掲げている。

- 〔所在地〕 名古屋市西区那古野2丁目14-1
- 〔運営者〕 なごのキャンパス運営事務局
- 〔事業者〕 東和不動産株式会社、株式会社LEO、株式会社R-pro、Tongaliプロジェクト、名古屋商工会議所
- 〔URL〕 <https://nagono-campus.jp/>
- 〔問い合わせ先〕 info@nagono-campus.jp



名 古屋駅から徒歩8分。円頓寺商店街に程近い那古野地区に、廃校をリノベーションして生まれたインキュベーションが誕生しました。スタートアップはもちろんのこと、東海圏の大企業も入居しており、企業×企業、企業×起業家・学生など「つながり」に対するニーズの高まりを感じさせます。

インキュベーション施設が生まれた経緯や活用方法、そして入居者のつながりをきっかけに生まれた新しいビジネスについて、同施設の管理会社・東和不動産株式会社の飯澤千紘さんに話を伺いました。

「起業家の育成や新しいビジネスを支援するインキュベーションが誕生した経緯を教えてください。」

廃校になった旧那古野小学校を利活用するコンペを名古屋市が開催したのがきっかけです。広域的な交流、産業・知的資産を生かした創造、地域力の発展を目的とされており、弊社の企画提案が採用されました。

当時は、名古屋駅界隈のオフィスに空きがないほど市況が良かったこともあり、新しい事業を始めて、大口テナントを自分たちで育てていくと我々は考えていました。また、弊社はトヨタグループの企業ですので、グループ内の企業がスタートアップへの投資や協業をしている中、いかにグループに貢献できるかを視野に入れていました。

「名古屋駅のミッドランドスクエアをはじめ、不動産の所有管理をして

いる東和不動産としてインキュベーションは新たな挑戦ですか。」

リノベーションやインキュベーションが初めての試みで、なごのキャンパスが新規事業の第一歩でした。ここを成功事例として、東京のお茶の水にトヨタ自動車の社員寮をリノベーションしたインキュベーション「axie 御茶ノ水」をオープン。22年秋に富士スピードウェイの隣接地にホテルも開業予定です。オフィスや商業以外の分野にも進出して、新しい事業を展開するきっかけになりました。

「なごのキャンパスは、複数の企業と連携して運営されています。」

土地と建物は名古屋市所有で、事業主体である東和不動産が2019年4月から最大15年間で運営を予定しています。コミュニティマネージャーは株式会社LEO、デザイン・プラン





ロゴマークは、旧那古野小学校章のまま



ドラムのタムを利用したランプシェード



音楽室だったなごりのある会議室

ディングは株式会社 R p r o、産学連携支援の T o n g a l i i プロジェクトなど、複数の企業と共同で運営をしています。

「名古屋商工会議所が入っているのも、インキュベーションとしてはありがたいですね。」

平日は基本的に常駐して下さっていて、創業や補助金の相談などができるといったような仕組みを作っています。

「では、なごりのキャンパスのコンセプトを教えてください。」

コンセプトは「ひらくまぜる生まれる」次の100年を育てる学校です。スタートアップに限らず、大企業、個人事業主などみんなに門戸を開く施設です。オフィスの機能以外にもイベントなど人や企業を混ざる仕掛けをして、次の100年を担っていく新しい産業や人材を育てていくことも狙いとしています。次の100年をつくっていくためのコンセプトを設計しました。ちなみに、ロゴマークは旧那古野小学校の校章です。地元の方にも愛された学校だったので、そのまま使わせていただいております。

「学校をリノベーションする際、工夫したことはありますか。」

リノベーション前は、最後の卒業生が黒板に書かれたメッセージなどそのまま残されていました。全て外して保存しており、そこには新しい黒板を付けて使ってもらっています。コワーキングスペースで使用している家具は、体育館の得点板を活用した照明やとび箱の机など廃材を利用して作られています。

「施設内のワークスペースについて教えてください。」

メインのコワーキングスペース「HOME ROOM」は、ワークスタイルや気分が自由に席を選べるフリーアドレスゾーンです。コワーキングスペースだけ使える会員は70人ほど。2階、3階のオフィスに入居されている方もこのスペースで仕事されていて、打合せや商談、会員同士の交流の場になつていきます。このスペースは、元々職員室だった場所なんです。

「コワーキングスペースにはキッチンもありますね。」

コーヒーが無料で飲めるオープンキッチンでも会員の交流が生まれています。1日のコンロもあるため、テナント企業同士で仲良くなることが多く、それぞれに食材を持ち寄り、お昼ごはんを作ったり、お皿を並べて食べよう！というつながりも生まれています。

まれています。コミュニティのコアになつていきますね。

「固定席を使用するシェアオフィスのニーズはいかがでしょうか。」

3階のシェアオフィスは固定席です。こちらに入居されている方は、24時間施設を使用でき、会社登記も可能です。こちら40席ありますが、ほぼ満席になっています。

「小学校の教室を生かした個室のオフィスもユニークです。」

個室は27室ありますが、全て満室になっています。個室に入居すると名古屋市の要件を満たせば家賃補助も受けられることも人気の要因のひとつです。

入居企業の業種もさまざまです。豊田通商株式会社、タキヒヨー株式会社など、スタートアップに投資や協業されている企業も入居いただいています。そして、名古屋の会社だけでなく、東京のスタートアップ企業も入居されています。

「一般の方に開放されている場所はありますか？」

1階のコワーキングスペースは、ドロップイン（1日利用）の利用も

可能です。イベントスペースとしても開放しており、平日の17時以降と土日は貸し切りもできます。スクリーンやプロジェクターがあり、貸し切りのニーズも高いです。体育館や会議室も利用可能で、体育館ではドロロン教室も開催しています。そして、カフェ「yoake」も併設。モーニングやランチを地元の方にも楽しんでいただいております。



間近にある名古屋駅の高層ビル群



元給食室はカフェ「yoake」に